学校番号	1202

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新図説　家庭基礎　（実教出版）						
副教材等	2021 最新　生活ハンドブック　資料＆成分表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・家庭生活にかかわる基礎的・基本的な知識や技術を習得する科目です。
・生活のさまざまな現象や課題について、理解を深め知識を身につけましょう。
・家庭科で学んだ知識や技術を生かして、家庭生活の充実をはかる力と実践的な態度を養いましょう。
・日々の授業を大切にし、提出物等の期限はしっかり守りましょう。

２　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 調理計画 製作計画 実習記録表 レポート 発表 自己評価	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 調理計画 製作計画 実習記録表 レポート 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 製作品 レポート 発表 定期考査 実技テストの結果 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ワークシート プリントの記述 調理計画 製作計画 実習記録表 レポート 発表 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月	自分らしい生き方と家族	○家庭基礎の学び方 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○自分を見つめる ・ライフステージと発達課題 ・青年期の生き方	○	○	○	○ ○	a:生きるための基礎となる家庭基礎について意欲的に取り組もうとする。 b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決を目指して考え表現している。 c:青年期の生き方を検討する技術を身に付けている。 d:人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
5月 6月 7月		○家族・家庭を見つめる ・家族とは ・家族に関する法律 ○これからの家族と家庭生活	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力について関心を持ち意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家族・家庭と社会とのかかわりについての課題を見いだし、その解決を目指して考えている。 c:事例研究などを通し、家族や家庭のあり方について検討する技術を身に付けている。 d:家族・家庭の意義、社会との関わりについて理解し、自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	住生活をつくる	○人と住まいのかかわり ・住空間と平面計画 ・健康や安全に配慮した室内環境 ○住環境や地域社会	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:住生活全般について課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:安全で快適な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査
	消費者として自立する	○消費行動を考える ・消費行動と契約 ・消費者の権利と責任 ○経済的に自立する ・収入と支出 ・長期的な経済計画	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:家庭の経済の計画・管理、生活設計について考え、工夫している。 c:家庭の経済の計画・管理、生活設計を立案するための技術を身に付けている。 d:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 定期考査

8月 9月	子どもとかかわる	○子どもを知る ・人の発達と保育の役割 ・青年期の健康と生命の芽生え ○子どもの発達 ・身体と心 ・生活習慣 ・食生活・衣生活 ・遊び ○子どもを取り巻く環境	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:子どもの発達と保育に関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育に、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決を目指して考え、表現している。 c:子どもと適切に関わり、子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:家族・地域・社会の果たす役割を認識するために、必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 観察記録表 実習レポート 製作物 定期考査
10月 11月 12月	食生活をつくる	○食生活と健康 ・食生活の変化と問題点 ○食事と栄養・食品 ・必要な栄養素量と献立 ○食品の衛生と安全性 ○食生活と環境 ○調理の基本 調理実習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食生活全般について、課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。 c:健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生などの技術を日常の調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、環境などについて、実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査
1月 2月	衣生活をつくる	○衣服の機能 ○衣服の素材と性能 ○衣生活の管理と計画 製作実習 ○衣生活と資源・環境	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:衣服の管理と着装、健康で快適な衣生活、環境に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:衣生活全般について課題を見いだし、その解決を目指して考え、適切に判断し、表現している。 c:健康で快適な衣生活を営むために必要な衣服計画・整理などの技術を身に付けている。 d:衣服の機能と着装、衣服材料、衣服管理などについて科学的に理解し、必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート レポート 観察記録表 実習レポート 製作物 授業内考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。